

藤岡啓介の翻訳玉手箱 第3篇
公開講座 プロになるぞ！！ 第16回
コメント一覧

思ってしまうのでしょう

ぼくの貧しい外国語会話の体験でも、英語で話していて、ああこれがロシア語だったらもっとうまく話せるのに、と思ったり、その逆だったりした覚えがあります。

tool

ずいぶん古いことですがIBMの文書で、ちいさな工具も大きな工場も、どちらもtoolと表現していました。なるほど、とその文明観に唸ったものです。

「傑作選」

佐々木徹監訳『ウィルキー・コリンズ傑作選』（臨川書店）。短編集の原書では“Little Novels”（Aegypan Press）など。

三部作

ドライザーの『アメリカの悲劇』も傑作だけど“The Financier” “The Genius” “The Stoic”の三部作はもっと面白い。男の世界だけど、機会があったら探して読んでみてください。それにしても、もうドライザーの訳書、残念ながら書店の店頭にはないようですね。